

## 碎石跡地の緑化に適した樹種は

碎石地では、石を採取するため、栄養分が豊富に含まれている理化学性の良好な地表の土が剥ぎ取られてしまいます。したがって、碎石跡に残された石の山（岩壁）や廃土石（ズリ）堆積地は、栄養が少なく、植物の生育に極めて不適な土壌となっています。このような悪条件の土壌では、碎石採掘前に生育していたイタヤカエデやミズナラのような樹種は生育するのが困難で、ヤマハンノキ類のように貧栄養土壌でも早く成長する樹種が緑化に適しています（写真 - 1）。これまで道内各地で行ってきた植栽試験の結果から、碎石跡地の緑化に適した樹種を、表 - 1 に示しました。これらの樹種のうち、高木は碎石跡地に導入 5 年目で樹高 4 m 以上に成長します（写真 - 2）。しかし、土壌が特に貧栄養な場合は、導入してから 2 年間は地上部の成長量は少なく、3 年目から大きく成長します（写真 - 3）。このように碎石跡地のような立地条件の厳しい荒廃地の緑化は、時間がかかることを覚悟する必要があります。（管理技術科）



写真 - 1 碎石跡地に植栽して3年目の樹木  
手前はイタヤカエデ（樹高30cm）、  
奥はコバノヤマハンノキ（樹高3m）



写真 - 2 碎石跡地に植栽して1年目（左）と5年目（右）  
樹種はケヤマハンノキ

表 - 1 碎石跡地の緑化に適した樹種

| 高 木       | 低 木      |
|-----------|----------|
| ドロノキ      | ヒメヤシャブシ* |
| ナガバヤナギ    | ハマナス     |
| ケヤマハンノキ   | アキグミ     |
| コバノヤマハンノキ | エゾヤマハギ   |
| ミヤマハンノキ   | タニウツギ*   |
| ニセアカシア**  | ノリウツギ    |
|           | モンタナマツ** |
|           | ギンドロ**   |
|           | イタチハギ**  |

\* : 土壌凍結地帯には不適。

\*\* : 外国産樹種のため、自然植生が求められる  
地域では、使用上の配慮が必要です。

5年目  
(成長中)  
4年目

3年目

2年目

1年目

植栽時

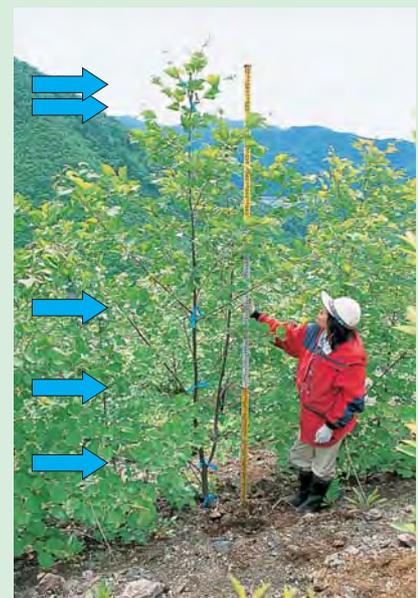


写真 - 3 碎石跡地に植栽したケヤマハンノキ  
植栽後2年間は成長量が小さい。